

暑さに負けず元気いっぱいの競技と応援  
横越中学校で体育祭

9月12日、横越中学校グラウンドで、「燃やせ闘志 轟け応援 ～Go for 勝利 横雲児～」をスローガンに、汗ばむ天候のもと体育祭が開催されました。

体育祭の準備のために、一部の生徒は夏休み前から、多くの生徒は2学期が始まると同時に取り組み、昼休みや放課後などに応援などの練習に励みました。

323名の生徒たちは赤、青、黄の3連合に分かれ、仲間や家族、地域の方々の応援を受けながら、リレーや大玉送り、綱引き、騎馬戦などで最後まで力いっぱいプレーを行いました。また、自分たちで考えた工夫を凝らした振り付けや歌などで、声をからしながらも元気よく応援。各連合の点数が発表されるたびに、一喜一憂の声が上がっていました。

体育祭の結果は、競技の部・応援の部ともに黄連合が優勝しました。



ホームステイやバーベキューなどを通して  
東南アジアの青年たちと交流深める

このたび、日本と東南アジアの青年たちが船内で共同活動を行いながら各国を訪問するという内閣府主催の「東南アジア青年の船」事業で、350名が来日しました。9月3日から5日まで約30名が県内に滞在し、初日に北方文化博物館などを見学。このうち、今回来町した青年たちは、フィリピンやカンボジア、ミャンマーなどからの参加者8名で、町内4軒の家庭で2泊3日の日程でホームステイし、日本の生活習慣や文化に触れました。

9月4日、よこごし国際交流協会の主催により阿賀野川床固め公園で開催されたバーベキューパーティーでは、東南アジアの青年たちも日本人の参加者も英語で趣味や日頃の生活、文化の違いなどについて話したほか、適当な英語が見つからない時は手振り身ぶりで懸命に意思を伝えました。シンガポールから参加した青年は、「ホームステイ先で食べた梨がとても甘くておいしかった。博物館で日本文化に触れることができた」と感想を述べていました。



言葉の違いを超えて、楽しく交流しました。

終日どの時間でもどのクラスでも参観可能  
横越小学校で初めての一日学習参観

9月17日、横越小学校で一日学習参観が開催され、保護者だけでなく地域の方々なども多く訪れました。

これまでは決められた時間だけの授業参観でしたが、どの時間でもどの教科でも参観できる日がほしいという保護者の声を受けて、今回初めて実施されました。

当日の2校時から5校時まで、すべてのクラスでいろいろな教科が行われました。また、心の教育に取り組んでいることから、道徳の授業も全クラスで実施。授業時間だけでなく給食や休み時間などの子どもたちの様子も参観できるため、学校内では参観に訪れた人たちが一日中行き交い、子どもたちの勉強や遊びの様子、先生の教え方などを見学しました。

5校時終了後には、新潟少年サポートセンターで家庭問題などの相談を受けている渡邊美香さんを講師に、「子どもの問題行動と家庭のあり方」と題して講演があり、保護者たちは真剣に聞き入っていました。

子どもの行動について考えた講演会→初めての実施となった一日学習参観↓



小杉地区の神楽舞



山車を引っ張る小杉地区のたくさの子どもたち

8月下旬から9月上旬にかけて、五穀豊穡や地域安全などを願って、町内各地域でにぎやかに祭りが行われました。

小杉八幡宮大祭

8月28日・29日、小杉地区で小杉八幡宮大祭が行われました。

五穀豊穡などを願い  
各地域で伝統の祭り楽しむ

別所キサさん（沢海3丁目）は、明治38年（1905年）3



26日生まれで、現在99歳。あと半年で百歳を迎えます。9月17日、内閣総理大臣からの長寿の祝い状などが伝達されました。別所さんは現在、阿賀野の老人保健施設「マチュアハウス横越」で療養を続けています。この数日前に体調を崩したため、ご

別所キサさん、めでたく百歳

家族が祝い状を受け取りました。その後家族や親戚の方々が施設を訪れ、本人に祝い状や祝品などを手渡すと、多くの人たちが祝ってくれることに大変感激し、手を合わせて感謝していました。別所さんはお米と鼻歌が大好きで、また、とても穏やかな性格で、いつも周りの人たちに感謝しているとのこと。

28日夜は、地域の人たちの寄付によるのぼりが並ぶ約2kmのメインストリートで、大人たちは提灯がたくさん灯った勇壮な万燈みこしを、子どもたちは美しい宮みこしを担ぎ、「わっしょいわっしょい」と威勢よい掛け声で、小杉下地区から小杉上地区の神社へ向かいました。境内では、多くの人たちが見守る中、躍動感ある神楽舞と、軽快な動きが特徴の剣舞が奉納されました。また、29日の午後には山車が地区を練り歩き、小さな子どもからお年寄りまで、伝統の祭りを楽しみました。

川根谷内地区秋祭り

9月4日・5日、川根町・茜ヶ丘地区で川根谷内地区秋祭りが開催されました。



川根谷内の全域を練り歩いた宮上り

4日午後には、子どもたちなどが中心となって笛や太鼓の音とともに元気よく山車を引っ張り、川根谷内の全域を回りました。山車が須賀神社に到着した後、獅子舞が奉納されました。川根



川根谷内地区の獅子舞

囲碁将棋大会県大会  
町から2名出場へ

中蒲原郡老人クラブ連合会主催による囲碁・将棋大会が、9月9日、村松町老人福祉センターで開催され、リーグ戦を行いました。将棋部門では伝富勇さんと佐藤朝雄さんが同率で1位になり、当町の参加者同士による決定戦の結果、伝さんが優勝。囲碁部門で山本義弘さんが県大会出場権を獲得し、当町から伝さんと山本さんの2名が、11月24日・25日に弥彦村で行われる県大会へ出場するようになりました。

谷内の獅子は、黒い獅子頭と鳥の羽根でできた鶏冠が特徴で、3匹で舞う大変めずらしいものです。その夜には、神社境内にてカラオケのど自慢大会が開催され、自慢の歌を披露。また、翌5日には、地域内の5か所で悪魔払いの獅子舞を行い、地域の安全などを祈願しました。祭りを通して楽しい時間を過ごし、地域の絆を一層深めました。なお、11月7日に新潟市産業振興センターを会場に開催される新潟フェスタで、この獅子舞が披露されることになっています。